

地域医療者のための学習会「閑門フォーラム(予定)

閑門医療センター3Fホール

- 日時：令和7年7月24日(木) 19:00～20:00
- 内容：下関市医師会学術講演会
「テーマ：下肢静脈瘤の診断と治療」
- 講師：村上 雅憲(心臓血管外科)



毎年5月12日は「看護の日」です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、1965年から国際看護師協会(本部・ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めました。「看護の日」とは、看護や健康に対する国民の意識の向上と、地域や家庭での健康やケアへの感心を向上させるなどの目的で、1980年に当時の厚生省が制定した日です。

当センターでは看護の日をはじめとしたイベントを行っており、延べ150人の患者さんやご家族の参加がありました。血管年齢、骨密度測定やAEDの使い方などの測定やAEDの使い方講習などを通じて、参加された方が自身の健康に目を向け、家庭でのケアへの感心を向上させた機会となりました。来年も実施しますので、皆様のお越しをお待ちしています。



下関市立美術館の特別展ポスター(抜粋)

診療科：脳神経内科

浜本 優佳

「看護の日」のイベントを開催しました

毎年5月12日は「看護の日」です。近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで、1965年から国際看護師協会(本部・ジュネーブ)は、この日を「国際看護師の日」に定めました。「看護の日」とは、看護や健康に対する国民の意識の向上と、地域や家庭での健康やケアへの感心を向上させるなどの目的で、1980年に当時の厚生省が制定した日です。

当センターでは看護の日をはじめとしたイベントを行っており、延べ150人の患者さんやご家族の参加がありました。血管年齢、骨密度測定やAEDの使い方などの測定やAEDの使い方講習などを通じて、参加された方が自身の健康に目を向け、家庭でのケアへの感心を向上させた機会となりました。来年も実施しますので、皆様のお越しをお待ちしています。

Q 出身地は？
山口県宇部市です。ときわ公園のそばで育ちました。

Q 今行きたいところは？
5月31日から下関市立美術館で開催される特別展「花の宮廷画家ルドゥー」です。毎日美術館のそばを通る美術館前の広告を見て気になっています。

Q おすすめの場所は？
ときわ公園。2015年にリニューアルオープンしたときわ動物園も良いですが、広々としたスペースに展示されている野外彫刻がおすすめです。

Q 閑門医療センターのどこが好き？
窓から見える景色です。特に海側。

地平線まで見渡せる展望は気持ちをスッキリとさせてくれます。入院中の患者さんは一緒に海を見に行こうと、休憩スペース病棟の自動販売機があるところへの散歩を誘っています。診察の一環で歩行機能の評価として病棟内を歩いて頂く際にもここに立ち寄ることが多いです。

縫合実習実施

研修医

初期研修医を対象とした縫合実習を2025年4月に実施しました。



外科の上級医師の指導の下、リアルな人工皮膚パッドを使用して実践的な縫合トレーニングを行うことができました。また、しっかりと糸を結ぶことができたかを測定器で計測し、結紮力の高い糸結びができた研修医を実習の最後に優秀者として表彰しました。研修医は救急外来では内科・外科など多くの総合処置を担当します。今後も患者さんのために日々技術を磨き続ける絶え間ない努力が必要ですが、研修医の先生にとて今回の実習がその一助となれば幸いです。

外科の先生方から直接の指導を受けながらアルな人工皮膚を用いて糸結び・縫合を実践することができます。

これからERで局所麻酔下での縫合が必要な場面があると思います。その際には患者さんに不安を与えることなく処置をできるよう今後も練習を積み重ねていきたいと思います。

(研修医)

吉田 知央



この度、特定行為研修に参加させていただけとなりました。私は下関市立市民病院の救命センター(HCU)でクリティカルケア認定看護師として勤務しています。医療現場での役割をさらに広げ、患者さんにより良いケアを提供するために、今回の研修を通じて知識と技術の向上を目指します。ご指導を賜ります皆様には心より感謝申し上げます。

研修の入部受講者を迎えて令和7年5月15日に、特定行為研修をいたしましたのでご紹介します。

特定行為研修入講式開催

初の外部受講者を迎えて令和7年5月15日に、特定行為研修をいたしましたのでご紹介します。



下関市立市民病院
看護師 保村 宏樹さん

もし、目の前で人が倒れていったあなたはどうしますか？ その人は誰かにとってかけがえのない大切な人かもしれません。当センターでは安心して生活ができるよう認定看護師や公認システムラクターが全職員対象に心肺蘇生法の指導を行っています。さもなくば、地域の皆様と協力して一人ひとりの命と健康を守る活動の取り組まれる姿が印象的でした。一環として、下関市内の小中高校や自治会・企業からのご依頼をいただき、「出前で行う救急蘇生講習」を実施しています。

この度、地域の小学校よりご依頼を受け、教職員の皆様を対

象に救急蘇生講習を実施いたしました。小児の救命の連鎖や窒息解除に関する講義に加え、人形やAEDを用いた実技訓練を行いました。先生方が現場を想定し真剣に取り組まれる姿が印象的でした。7月には同校の小学生153名を対象とした講習会も予定されています。

今後も専門性を活かしながら地域に根ざした支援を続けてまいります。



救急看護認定看護師 ふくもと 福本 知子

